

単年度水道事業評価シート(令和元年度)

1 事業情報

担当課

上下水道総務課

目指すべき方向性	持続	基本政策	5 社会・環境との調和	施策	5-1 地域社会との協働	事業	5-1-1 地域社会との連携強化
----------	----	------	-------------	----	--------------	----	------------------

2 事業評価の概要

視点	内容							
何のために【政策】	水道事業を通じて、社会との調和を実現するために、社会貢献活動に積極的に取り組みます。また、限りある自然環境を未来に残せるよう環境と調和した事業を推進します。							
どんな問題を解決するか【事業目的】	・地域住民の水道事業への正しい理解を促進するため、浄水場や水道庁舎を活用し、「水道」について学習する環境を整えます。 ・「水」に関わる市民団体の活動を紹介し、健全な水循環に寄与します。 ・地域住民と合同の災害訓練等を実施し、水道事業への理解と防災対策の促進を図るとともに、地域との連携強化を図ります。							
どのような道筋で【目標】(単年度)	①水道学習見学会(浄水場・ダムの見学会)について、規模や内容を適宜見直して、水道への知識をより深める効果的な会を開催し、その結果を検証します。 ②浄水場施設を活用した水道学習プログラムを実施し、内容の充実に努めます。 ③水道学習用パンフレットを施設見学者に配布します。 ④広報誌やホームページで市民団体の活動を紹介します。							
期間	平成31年4月 ～ 令和2年3月							
いくらかけて【予算額・決算額】		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位: %
	事業費計	389	389	0	0	0	0	0%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	381	381		0			0%
	その他	8	8		0			0%
	人件費	711	711		0			0%
どういう成果を達成するか【成果指標】	①水道学習見学会(浄水場・ダムの見学会)について、規模や内容を適宜見直し、水道への知識をより深める効果的な会を開催し、その結果を検証できた状態。 ②浄水場施設を活用した水道学習プログラムを実施できた状態。 ③水道学習用パンフレットを施設見学者に配布できた状態。 ④広報誌やホームページで市民団体の活動を紹介した状態。							

3 プロセス結果の検証

評点	視 点	内 容				
中間評価	上半期何をどのように 執行したか 【現状把握】	①8月2日に水の学習会(新三郷浄水場及び滝沢ダムの見学)を開催し、66名が参加した。 ②浄水場施設を活用した水道学習プログラムを、ろ過実験を取り入れるなどの工夫した内容で実施し、290名(9月末時点)を受け入れた。 ③施設見学に来た小学生に、水道学習パンフレットを配布した。				
77点	下半期 改善すべき点 は何か 【改善目標】	①アンケート調査の結果をもとに、次年度以降に開催する学習会の内容を検討する。 ②上半期に実施した施設見学内容を検証し、より充実した施設見学を行えるよう検討する。 ③引き続き見学者に水道学習パンフレットを配布する。 ④2月発行予定の上下水道広報誌「みずぐるま」にて、市民団体の活動を紹介する。				
	どのくらい進んだか【進捗度】	執行(契約)事業費	293千円	事業進捗度	自己評価	B 予定通りの成果を上げた
		予算執行率	75%		評価者結果	B 予定通りの成果を上げた
終了時評価	どう いう 成果を 達成したか 【達成状況】					
0点	次年度に 解決すべき点 は何か 【次年度 解決策】					

単年度水道事業評価シート(令和元年度)

4 改善経過の点検と評価

視点		項目	評点	5 常に 全員	4 概ね 多数	3 一部	2 あまり～ない	1 ほとんど～ない	中間	終了
人員		意識	この事業による社会全体への貢献を職員は常に意識していますか？						4	選択
		適材適数	業務の適正に応じた柔軟な偏りのない業務分担を行っていますか？						4	選択
中間	15	成果	課の職員が事業の成果や目的を意識していますか？						4	選択
終了	0	連携	この事業に必要な連携(局内・市長部局・委託業者等・県等)はできていますか？						3	選択
手段		手段	目的達成に必要な手段や方法は、既成概念に囚われず、新たな視点で検討していますか？						4	選択
		可視化共有	目的達成に必要な手段や方法を、可視化し、情報共有していますか？						4	選択
中間	16	方法	当初計画や予定よりも優れた代替方法を検討していますか？						4	選択
終了	0	目的化	この事業は、上位目的達成の手段として有効であることが、組織で理解されていますか？						4	選択
工程		進め方	目的を達成する工程が、全体最適の視点から作られていますか？						4	選択
		合目的性	水道利用者の視点に立ち、ニーズや利便性を反映した改善をしていますか？						3	選択
中間	16	学習	課題・問題点が発生したら、その都度、プロセス全体を検証し改善していますか？						4	選択
終了	0	当事者意識	職員が主体的に行動していますか？						5	選択
予算		利益	上下水道局の利益ばかりでなく、社会全体の利益まで意識していますか？						4	選択
		効果効率	より低いコストで成果をあげる工夫を施し予定以上の費用対効果を出していますか？						4	選択
中間	15	コスト検証	当初計画や予定よりも優れた代替方法による予算の効率的活用が常に検討されていますか？						3	選択
終了	0	成果	成果指標を上まわっていますか？						4	選択
期間		タイムマネジメント	工程を構造化したタイムスケジュールを可視化・共有し、停滞時間削減に取り組んでいますか？						4	選択
		タイムコスト	時間＝コストを意識し、ムリ・ムラ・ムダの検証を行っていますか？						4	選択
中間	15	期間の設定	業務集中を避け、局全体の事業執行を最適化するように期間を設定していますか？						3	選択
終了	0	成果達成	短期間で成果を達成するよう、期間を検討し、進捗を確認、期間修正を行っていますか？						4	選択

5 事後評価

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	
指標名	【PI C403】水道施設見学者割合	単位	人/千人	目標値	1.1			
算出式・根拠	(見学者数/現在給水人口) × 1,000			実績値				
指標名	活動団体紹介数	単位	団体/年	目標値	1			
算出式・根拠				実績値				
指標名	夢わーく 受入学校数	単位		目標値	2			
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

視点	自己評価	評価根拠の説明(自己評価の根拠を具体的に記述します。不達成の場合は、原因、改善策を明示します。)		評価者結果
		A＝予定以上の成果を上げた / B＝予定通りの成果を上げた / C＝成果は出ているが予定に達していない D＝結果は出ているが成果は出ていない / E＝不十分な結果にとどまる、または結果が出ていない		
達成度	選択			選択
効率性	選択			選択
有効性	選択			選択
説明責任	選択			選択
組織学習	選択			選択
総合評価	選択			選択
		次年度方針 選択		